

<様式6>

畜産試験場試験・研究課題事後評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名：畜産物の品質改善

小課題名：エコフィードを活用した高機能で食味の良い豚肉の生産

細目課題名：

| 評価項目 | 評価点 | 指摘事項 |
|-----------------------|-------|---|
| 1 研究目標の達成度 | 5 / 5 | 数多い試験の実施により、豊富な情報が得られている。まとめ方の面で不十分な部分はあるが、研究目標は達成されている。 |
| 2 成果の有用性 (普及性、波及性) | 5 / 5 | 今後、低未利用資源を利用するため、物差しとなる指標が示されている。成果の有用性は高い。普及に当たっては、低未利用資源の賦存量や季節性なども意識して進めて欲しい。 |
| 3 研究の発展性 | 5 / 5 | 本成果は、科学的なデータに裏打ちされたものであり、その中で、今後の研究の種となるものも多く含まれている。発展が期待できる。 |
| 4 研究課題選定の妥当性 | 5 / 5 | 飼料価格の高止まりに対して低未利用資源の利用促進は喫緊の課題であり、それに関連した研究課題の選定は妥当といえる。 |
| 総合評価 | 5 / 5 | 課題選定は妥当であり、低未利用資源を有効に利用するための指標が得られ、当初の研究目標は達成されている。また、今後の研究の種となるものも得られており、発展が期待できる。 |

「注」 評価点の目安

| 評価 | 高い | やや高い | 普通 | やや低い | 低い |
|----|----|------|----|------|----|
| 点数 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

試験研究機関の処置

低・未利用資源の賦存量や季節性を考慮し、技術普及に向けた取組を継続していく。また、低・未利用資源の飼料化にあたっては関係機関および中間処理（回収）業者等と連携し進めていくこととする。